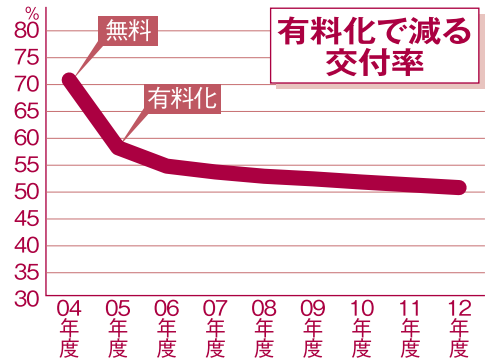




# 敬老乗車証の改悪ストップ

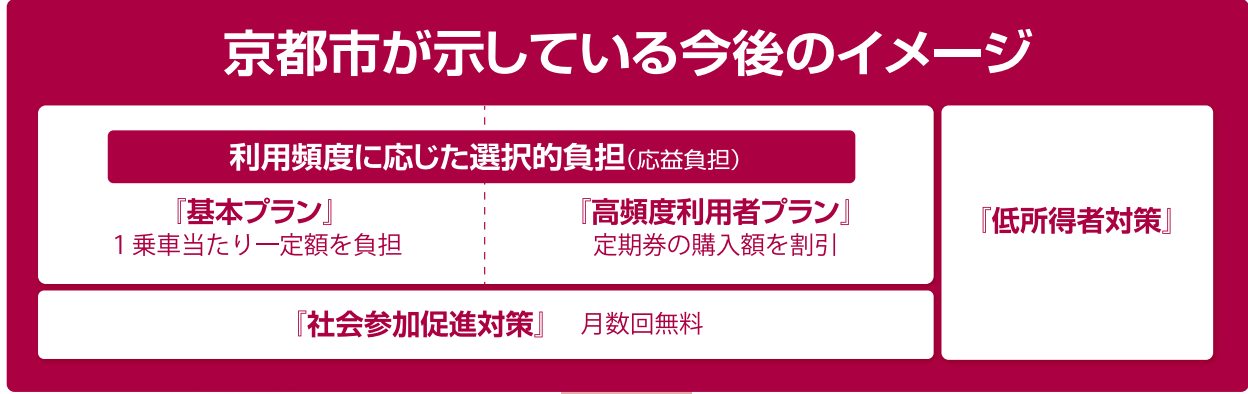
敬老乗車証は、「敬老の意を表するとともに、様々な社会活動に参加し、生きがいづくりに役立てていただくため」として、京都市が70歳以上の市民の方に交付しています。市バス・地下鉄を自由に乗り降りでき、一部地域では民営バスに対応しています。8年前に有料化されてから、交付率は50%と低迷しており、使いやすく喜ばれる制度にすることこそ、求められています。



## 京都市が基本方針案発表

# 市民意見を出しましょう。

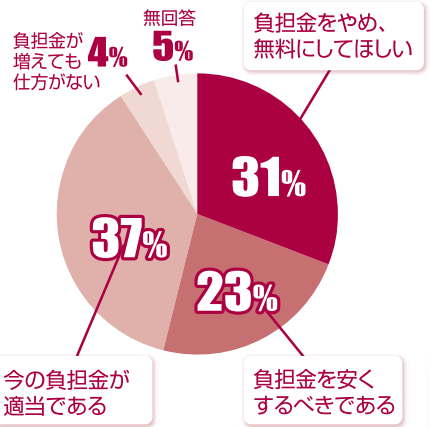
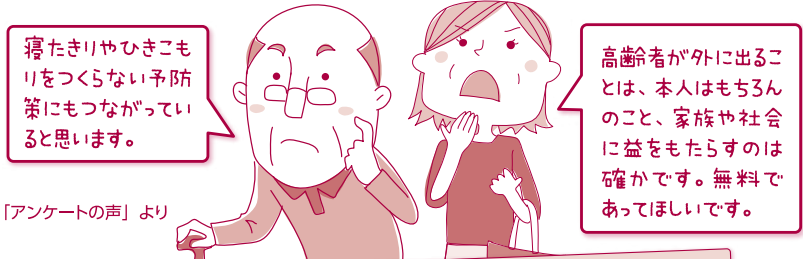
### 京都市が示している今後のイメージ



### 何が問題か

- 高齢者が増えても、市の予算は増やさないことが前提。
- 3,000円、5,000円など年間の負担金を払い、回数の制限なく無料で乗れる現行の制度は廃止する。
- 一定回数以上乗れば、乗車ごとに100円の負担など、乗れば乗るほどお金がかかる仕組みに変えようとしている。

市議団がとりくんだ「市民アンケート」には、1800通をこす返信が寄せられています。



9割以上の方が負担金額の軽減、または維持をのぞんでおられます。

## 8月23日まで

- 日本共産党市会議員団は、市に申し入れ(6月26日)
- 日数制限や乗車時の自己負担導入など、制度改悪は行わないこと。
- 敬老乗車証は、無料に戻すこと。
- すべての地域で、交付対象を民営バスにも拡大すること。

## どいっしょに声を上げましょう。

別紙の意見募集用紙などを使って、京都市に意見を出してください。

### 日本共産党 京都市議会報告

日本共産党市会議員団は、上記の見解を発表しました。

2013年8月号【発行：日本共産党京都市会議員団】TEL:222-3728